

令和6年度 SDGsチャレンジ事業運営管理業務仕様書

1 業務の名称

令和6年度 SDGsチャレンジ事業運営管理業務（以下、「本業務」という。）

2 履行期間

契約締結日から令和7年3月31日まで

3 履行場所

本県指定場所

4 適用範囲

- (1) この仕様書は、本業務について適用する。
- (2) この仕様書に規定する事項は、受注者がその責任において履行するものとする。
- (3) 受注者は、契約書及び本仕様書に明示のない事項や疑義の生じた事項について、発注者との協議のうえ対応を決定するものとする。

5 本業務の目的

スタートアップは、経済成長を牽引するエンジンとして、また、革新的なビジネス手法により社会課題の解決に取り組む主体として、地域にとってますます重要な存在になってきている。

このため本県では、起業家が集う場づくり、資金支援、成長支援、人材育成に取り組んできた。特に令和2年7月に大阪・京都と共に「スタートアップ・エコシステム拠点 グローバル拠点都市」（内閣府）に選定されて以降、神戸市と連携し、世界に伍する多様性のあるスタートアップ・エコシステムの実現、スタートアップの育成・支援に向けて取組を進めている。

また、深刻さを増す気候変動への対策は世界共通の喫緊の課題となっており、本県は、近年の状況変化を踏まえ、令和4年3月に「兵庫県地球温暖化対策推進計画」を改訂した。本計画では、目指すべき長期的な将来像と取組の方向性の中で、脱炭素社会の実現には、最先端技術を創出するイノベーションと併せて、技術の社会実装に向けた実用化・普及のためのイノベーションが不可欠であると示している。

以上を踏まえ、本業務では、脱炭素社会実現を目指すスタートアップに対して、集中的なアクセラレーションプログラムの提供や海外実証支援等を実施する。

本プログラムによる、参加スタートアップの事業計画のブラッシュアップ、脱炭素を起点とするコミュニティの強化、県外・海外への課題解決モデルの展開等を通じて、世界規模の社会課題解決に向けた地域発の取組の創出を後押しすることを本事業の目的とし、ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムのさらなる取組強化を進めることとする。

6 委託料等

(1) 委託料 30,000,000円以内

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 金2,727,272円)

ただし、令和6年度予算の成立が前提となるため、予算が提案通り成立しない場合は、事業内容及び委託金額等の大幅な変更や、本募集及び事業の実施を中止又は廃止する場合がある。

(2) その他

- ・本業務の全部又は主体的部分（総合的な企画及び判断並びに業務遂行管理部分）を一括して第三者に委任し、又は請け負わせること（以下「再委託」という。）はできない。

また、本業務の一部を再委託してはならないが、あらかじめ再委託の相手方の住所、氏名及び再委託を行う業務の範囲等を記載した再委託の必要性がわかる書面を県に提出し、県の書面による承認を得た場合は、県が承認した範囲の業務を第三者（以下「承認を得た第三者」という。）に再委託することが出来る。

なお、再委託する場合は、再委託した業務に伴う承認を得た第三者の行為について、受注者は県に対し全ての責任を負うものとする。

- ・契約時より経費内訳を変更する場合は、あらかじめ発注者と協議し、承諾を得ること。支出後の変更は認めない場合がある。

7 業務の構成

本業務は、以下の内容で構成する。

(1) 脱炭素社会実現を目指す国内スタートアップの海外展開支援

(2) 脱炭素社会実現を目指す海外スタートアップ等の誘致及び国内企業との協業を見据えた県内実証実験実施支援

8 業務内容

8-1. 脱炭素社会実現を目指す国内スタートアップの海外展開支援

(1) 業務の構成

本業務は、以下の内容で構成する。

(ア) 参加企業の募集・選定

- A) (2) 支援対象者を募集し、10社程度採択することとし、約半数以上を脱炭素の課題解決に資する事業とすること
- B) 企業募集に関し、募集の量・質を担保するための具体的な手法について提案すること。
- C) 募集課題は脱炭素をはじめとしたサステナビリティに関して自由提案とすること。
- D) 参加企業募集・本プログラム実施状況発信のためのホームページ（日本語）

の作成及び運営を行うこと。

- E) 応募勧奨にあたり、参加者のプログラム理解・応募意欲をあげるための簡易なイベント（オフラインもしくはオンライン）を2回程度実施すること。
- F) 大企業やひょうご・神戸地域の中堅・中小企業、自治体、スタートアップ支援機関、大学及び金融機関等と連携するため、後援・協力に係る依頼調整・とりまとめを行うとともに、その拡充に努めること。
- G) 上記E)の後援・協力機関等と連携し、兵庫県を中心に、大阪府・京都府へのPRにも努めること。
- H) 応募のあったスタートアップ等から、審査（書面・面談）によって参加企業を選定すること。選定にあたっては、兵庫県・神戸市等の意見を徴すること。
- I) 全ての応募者へ選考結果を通知すること。

(イ) 参加企業の事業開発支援および海外展開支援の実施

上記(イ)で選定した参加企業に対し、A)～C)に掲げるプログラムを実施すること。

A) 事業開発支援プログラム

- ・プログラムの期間及び内容については最適な計画を提案すること。
- ・プログラムは英語もしくは日本語をベースとするが、参加者が無理なく参加できるよう適宜通訳等のサポートを設けること。
- ・プログラムの内容は、主として以下の項目を含めるものとし、参加企業の状況に合わせて適切な支援を行うこと。

i. 全参加企業の参加を必須とする現地参加型イベントの実施

プログラムのキックオフという形で、参加企業間及び支援者とのコミュニティ形成を行うことを目的とした参加必須のリアルイベントを実施すること。(神戸市内、2日程度)

ii. 事業開発支援

事業開発や海外展開に向けた講座（例えば海外エコシステムの紹介、海外展開に向けたマインドセットの醸成、英語でのプレゼンテーション力向上のための講座等）を実施（オンライン可、プログラム実施期間中10時間程度）

B) メンタリングプログラム

- ・参加企業に対して以下の個別支援を実施すること。
 - i. 担当メンターによる定期メンタリング（週1回程度）
 - ii. 外部メンターによる個別メンタリング（プログラム実施期間中5時間程度）

上記メンタリングにおいては、主に以下の内容をカバーするように設計する

こと。

- i. プログラム開始時に、プログラム期間中のKPI設定及びマイルストーンを設定すること。また、マイルストーンの進捗管理を行うこと。
- ii. 海外での現地パートナーとなりうる企業等のリストアップやマッチング、参加企業が開発した製品・サービスの海外での検証・実証先の探索など海外での市場検証・実証事業の足掛かりの形成に向けた支援活動。
- iii. 参加企業の海外進出希望エリアでのビジネス展開に知見のあるメンターをアサインすること。
- iv. 海外投資家向けに通用するレベルの英語でのピッチのトレーニングを実施すること。

C) デモデイ（成果報告会）の実施

- ・参加企業のデモデイを開催し、ひょうご神戸の脱炭素社会実現に向けた取組の機運醸成に努める。
- ・神戸市内にてハイブリッド開催とし、国内外の関係機関やベンチャーキャピタルなどのステークホルダーとの交流を深める機会になるよう努める。
- ・ピッチのフォーマットについては、プレレコードもしくはライブのいずれでも可とし、聴講者にとって効果的な方法を提案すること。
- ・オンラインでの参加者と参加企業によるネットワーキングが効果的に実施されるように工夫すること

(ウ) 海外実証・調査事業

海外での事業展開が有望な企業に対して、海外での市場検証・実証事業及び海外のスタートアップ支援プログラム等への参加を実施するために必要な支援を行うこと。予算額は1社あたり30万円以上とする。（約10社想定）

- A) 対象費目は、海外への渡航費（航空運賃、VISA取得費用等）、海外現地での宿泊費、海外現地パートナー・コーディネーターへの再委託費（通訳・翻訳、調査等）、海外プログラム参加費とする。なお、渡航費及び海外プログラム参加費については、1社あたり3名以内を対象とする。
- B) 海外での市場検証・実証事業費の申請・精算手続は日本語とする。

実証費用の予算額については自由提案とする。

(2) 支援対象者

スタートアップで、本プログラム開始までに兵庫県内に拠点（本店、支店のほ

か、登記されていない営業所や出張所、サテライトオフィス、コワーキングスペース契約等を含む)を有する企業とする。

8-2. 脱炭素社会実現を目指す海外スタートアップの誘致及び国内企業との協業を見据えた実証実験実施支援

(1) 業務の構成

本業務は、以下の内容で構成する。

(ア)-1 海外スタートアップの募集・選定

- A) 脱炭素等気候変動問題解決に資するテクノロジーを有し、兵庫県内への進出に関心がある国内外の海外スタートアップを対象として参加者を募集し、3社以上選定することとする。
- B) 参加企業募集・本イベントの情報発信のためのイベントページ（英語）の作成を行うこと。
- C) SNS（神戸市がひょうご神戸スタートアップ・エコシステムの海外発信を目的として運営する SNS（Linkedin）等）での広報およびその他各種イベントや媒体を活用した情報発信を行う。
- D) 海外のスタートアップ支援機関やベンチャーキャピタル等と連携し、有望なスタートアップの応募が得られやすい工夫を行い、事業をより効果的なものとする。

(ア)-2 実証実験マッチング先日本企業や県内実証フィールド等の探索・選定

- A) 県内及び京阪神の企業・経済団体等と連携し、脱炭素に資する課題解決分野での海外スタートアップの技術探索や協業に関心のある日本企業を募集する。また、県内実証フィールドについて、受託者は兵庫県、神戸市と連携して探索を進める。海外スタートアップ側、日本企業側の双方のニーズヒヤリングを行い、海外スタートアップとの実証実験実施可能な日本企業等を選定すること。

マッチングにおいて課題解決のシーズとなる(ア)-1、ニーズとなる(ア)-2のどちらを起点にして企業探索・選定を行うかは自由提案とする。

(イ) 支援の実施

上記(ア)-1、(ア)-2で選定した参加企業に対し、A)～E)に掲げる支援を実施すること。

- A) マッチングした海外スタートアップ、国内企業双方と十分協議しながら実証実験内容の共有を図る。また、実現可能性や実証に使用する技術や製品を踏まえた実験内容の整理・分析・明確化等、ブラッシュアップを図る。
- B) 実証実験にあたってのマイルストーンの設定およびマイルストーン進捗の

管理を行う。

- C) 実証実験のフィールドは兵庫県内とする。ただし、海外企業が兵庫県内企業とともに実証実験を行う場合はこの限りではない。実証実験のフィールドの探索にあたって、受託者は兵庫県、神戸市と連携して進める。
- D) 実証実験実施にあたって、海外企業と国内企業との面談や海外企業が日本滞在時や拠点開設時に必要な VISA の手配やコワーキングの登録等の支援を行う。
- E) 実証実験実施にあたって、本事業以外に活用可能な補助金を探索し、必要に応じて申請にあたっての支援を行う。
ただし、探索・申請支援する補助金の対象費目は本事業の支援対象費目と重複がないようにすること。

(ウ)デモデイ（成果報告会）の実施

参加企業のデモデイ（成果報告会）を開催し、ひょうご神戸の脱炭素社会実現に向けた取組の機運醸成に努める。神戸市内にてハイブリット開催とし、関係機関やベンチャーキャピタルなどのステークホルダーとの交流を深める機会になるよう努める。

8-1(1)(イ)C)に記載のデモデイと同時開催とするかは自由提案とする。

(エ)実証実験事業

国内企業との実証実験が実施可能な海外企業に対して、実証実験のために必要な支援を行うこと。予算額は1社あたり50万円以上とする。

- A) 対象費目は日本への渡航費（航空運賃、VISA 取得費用等）、日本での宿泊費とする。なお、渡航費および宿泊費については、1社あたり3名以内とする。

日本での実証実験事業費の申請・精算手続きは日本語または英語とする。

実証費用の予算額については自由提案とする。

9 運営体制

本業務の実施に必要な以下の運営体制を構築すること。上記各事業（8-1、8-2）の運営体制（統括責任者及び業務従事者）を提案すること。

(ア) 全体コーディネーター（1名）

受託期間を通して事業全体を統括する。事業運営を総括し、兵庫県・神戸市との連絡調整、事業の進捗管理、参加企業の支援状況の整理・更新及び各経費の管理等を行う。

(イ) アウトバウンドプログラムマネージャー（1名）

海外事業展開に豊富な経験を持ち、海外現地の課題やビジネスの現場を熟知しつつ、スタートアップ事情及び脱炭素関連分野に精通するものとし、専門性を発揮しながら、8-1の事業運営、総括を行うこと。また、全体コーディネーターの補佐を行うこと。

- (ウ) 担当メンター（複数名）、外部メンター（必要に応じて）

8-1事業において、参加企業それぞれに担当メンターを配し、伴走型の個社支援を実施。担当メンターは事業構築、海外展開、資金調達等について豊富な知識・経験を有する人材を配置すること。

また、参加企業の状況に応じてさらに専門性のあるメンタリングの必要があれば、外部メンターを手配すること。

どちらも日英2か国語対応可能な人材とする。

- (エ) インバウンドプログラムマネージャー（1名）

ビジネスマッチングに豊富な経験を持ち、専門性を発揮しながら8-2の事業運営、総括を行うこと。また、全体コーディネーターの補佐を行うこと。

- (オ) 担当コーディネーター（複数名）

8-2事業において、海外スタートアップ・国内企業の双方から十分なコミュニケーションを取りつつ確実にマッチングに繋げる。またマッチング後も連絡を密に取りつつ、実証実験実施に向けた伴走支援を行う。

脱炭素等機構変動分野、実証実験実施、資金調達等について豊富な知識・経験を有する人材を配置すること。

- (カ) 外部アドバイザー（必要に応じて）

企業マッチングや実証実験実施に際し、状況に応じてさらに専門性のある知見を有する人材を手配し、実証実験をより具体的で効果的なものとする。

10 その他

- (1) 業務実施にあたっての留意点

- (ア) 本業務にかかるイベントは、原則として起業プラザひょうごで開催すること。なお、起業プラザひょうごを使用する場合に限り、当該使用料を委託者が別途負担するが、使用に際しては受託者において、直接、施設運営者と調整すること。ただし、本業務履行期間中に受注者及び利用者が、施設や備品等を破損・汚損した場合は、発注者と協議のうえ、原則として受注者が修繕・原状回復を行うこと。

- (イ) 本業務の実施において、起業プラザひょうごと十分な連絡・調整を行い、支援における相乗効果が発揮されるよう努めること。

- (ウ) 本業務の公共性に鑑み、受注者は透明性、公平性を確保し業務にあたること。

- (エ) アンケートなどにより、業務の効果を把握し改善に努めること。

- (オ) 本業務実施中は、事業進捗状況を定期的に発注者に報告するとともに、全体のスケジュール管理や作業工程・実績管理、成果・改善について、定期的開催する進捗確認会議や適宜行う業務に関する打合せにより発注者等との協

- 議調整を行うこと。また、随時、発注者の求めに応じて本業務にかかる情報を提供すること。なお、事業期間内でも本業務の目的に資する業務内容があれば提案し、発注者等と協議のうえ実施すること。
- (カ) 本業務実施中は受注者及び受注者と人的又は資本関係のあるファンド等から参加スタートアップ等に投資してはならない。
 - (キ) 受注者が交代する場合は、円滑な引き継ぎに協力すること。本業務によって得られた情報や作成物は発注者に帰属するものであるため、イベント等参加者等の各情報、諸規定・規約、WEBコンテンツ、PRツール等の著作物及び著作権、その他本業務の継続に必要な資産を遅滞なく発注者に無償で譲渡すること。受注者は作成物の利用に関する全ての著作権人格権については、これを行使しないこと。また、著作者が受注者以外の第三者である場合は、今後発注者及び新しい受注者に対して著作者人格権が行使されないよう措置すること。WEBサイトやSNS等は契約終了後、新しい受注者が引き続き使用できるものとする。
 - (ク) 個人情報、企業情報等の管理にあたって、適切な情報セキュリティ・ポリシー及び情報管理体制を整備すること。
- (2) 業務実施に関する基本的な条件
- (ア) 各業務の実施にあたっては、随時兵庫県・神戸市等と連絡調整を行い、十分協議しながら進めること。
 - (イ) 業務を遂行するにあたり必要となる経費は、契約金額に含まれるものとし、発注者は契約金額以外の費用を負担しない。
 - (ウ) 労働基準法、労働安全衛生法ほか労働関係法令、個人情報の保護に関する法律及び条例その他関係法令等を遵守すること。また、この仕様書のほか、暴力団の排除、公正な業務執行、個人情報の保護及び適正な労働条件の確保に関しては委託契約書の特記事項にて定める。
 - (エ) 事業開始準備のために要する経費や契約終了に伴う引き継ぎのために要する経費については、発注者は負担しない。
 - (オ) 兵庫県、神戸市との連絡窓口となる担当者を1名定めること。
 - (カ) イベント開催にあたっては使用する当該施設の管理者や講師、協力企業など必要な関係者との調整を行うこと。
 - (キ) 受注者は、本業務の処理を第三者に委託してはならない。ただし、業務の一部を再委託することについて、兵庫県の承諾を得た場合は、この限りでない。
 - (ク) 受注者は、業務完了後における「業務報告書」をはじめとした所要の報告書類等のほか、業務の着手時及び実施中においても所要の書類を作成し、発注者に提出すること。
 - (ケ) 年度終了時において委託料に対し、経費に不足が生じても決定した額は変更しない。
 - (コ) 本仕様書に記載のないことや疑義が生じた場合は、事前に発注者と十分に協

議すること。

1 1 業務報告書等の作成（電子データ及び印刷物2部）

(1) 業務着手時に提出する書類

- ・実施計画書（経費内訳、内容及びスケジュール）
- ・業務従事者名簿および体制図（全体コーディネーター、プログラママネージャー、担当コーディネーター、メンター、外部アドバイザー等の業務分担を明記すること）

(2) 業務の実施中に提出する書類

- ・打合せ記録
- ・参加企業の支援実施状況リスト
- ・（委託先が国内外の出張を行う場合）成果報告及び本事業での活用計画

(3) 業務の完了時に提出する書類（令和7年4月5日まで）

- ・業務完了届
- ・業務報告書
- ・その他、業務によって得られた資料一式